

夜越山交差点車線を ひいていただきました

町民の方より要望があり、町地域整備課に要望したところ迅速な対応をして下さいました。町当局に感謝申し上げます。生活での道路使用、夏の観光シーズンに向けて、安全性が高まると町民の方からも喜びの声をいただきました。



自民党県連青年局街頭活動に参加

記念すべき令和元年5月1日と6月9日両日、自民党県連青年局街頭活動に参加しました。県内5箇所（八戸市、十和田市、青森市、五所川原市、弘前市）で、演説テーマは「投票率向上について」「北朝鮮による拉致問題の解決について」でありました。

司会などをさせていただき、通常の演説とは違う緊張感に、また一つ経験を重ねさせていただきました。

朝8時半の八戸より、夕方の弘前まで、各会場で熱心に話を聞いてくれる方々も多く、届けるメッセージに、司会の声も強く大きくなり、今後の糧となる活動になりました。これからも青年局に所属するメンバー全員、若い力の勢いを大事に、県・市・町村の活動を進めます！



町政へのアイデア、ご提案、ご要望募集中！
皆様から頂いたお声は、議会で質疑したり担当課に直接要望したり、責任をもって町へ届けます！

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295 携帯 090-3125-8752

メール tanakada@rmail.plala.or.jp

※この新聞は後援会討議資料です

平内町
議会議員

第12号
2019年7月00日発行

田中だい通信



着実！ひとつずつ！変わる平内！変わる未来！

生活環境について 令和元年5月9日(木)

青森市清掃工場

平内町のごみは、従前より青森市の処理施設で年間3500トン程の可燃・不燃・粗大・資源ごみと、し尿汚泥などの処理を委託していることから、現在の受け入れ先の現状を知ることにより、ごみ問題の改善及び減量化につながればとの思いで、視察を実施しました。

旧梨の木清掃工場の老朽化に伴い、平成27年4月1日より新設されたごみ処理施設「青森市清掃工場」が供用開始されました。この工場には、青森市のほか平内町・今別町・蓬田村から出るごみが搬入され、可燃ごみは300t/1日の処理能力で、毎日24時間体制で焼却しています。不燃ごみは39.8t/1日の能力で処理しています。処理方式は「流動床式ガス化溶融炉」で、ごみをガス化炉で加熱し、可燃性のガスと炭に分解し、これらを溶融炉に投入することで溶融スラグを生成します。この方式の利点として、高熱燃焼の

ためダイオキシンの発生量を抑えられます。生成される溶融スラグは道路の路盤材に活用することができます。今まで埋め立て処分されていたプラスチック類も処理でき、最終処分場を延命できます。また、廃熱を利用して発電や熱供給を行うことができるので、本清掃工場では、ごみの焼却熱を利用する蒸気タービン発電と太陽光発電により、施設内で使用する電力を賄い、それ以外の余剰電力は売電しています。

さらに前述の利点に掲げたとおり、同工場では焼却灰のスラグ化及び不燃・粗大ごみの破碎選別処理による資源化選別を行い、リサイクル率の向上を図るとともに、最終処分場で処分する灰の量などを削減し、処分場の延命化を図っています。

これまで以上にごみ減量に努めなければならないと決意を新たにしました。



令和元年第二回議会定例会一般質問

「管内中学校統合について」

田中大

皆さん、おはようございます。

令和という新時代を迎え、その最初の議会にて第一番目に質問させていただくという光栄な機会を与えていただき、心から感謝を申し上げ、質問いたします。

それでは「管内中学校統合について」と題しまして。

いま多くの地方自治体で直面している人口減少問題、特に町村部の少子化に伴う学校教育への影響については、多くの自治体でその影響を受けている状況にあり、我が平内町でも少子化が急速に進んでおり、この少子化に伴う学校教育の再編とその対応についてお伺いします。

当町では、平成元年には小・中学校合わせて16校（小12校、中4校）児童生徒数は、約2400人と聞いておりましたが、それが令和元年4月現在では、小・中学校合わせて6校（小3校、中3校）となり、児童生徒数645人とのことであります。実にこの30年間で7割強の約1750人の児童生徒数が減少しているという状況にあります。

特に中学校では、小湊中学校が平成元年の514人から令和元年には139人に、東平内中学校（東栄中含む）で172人から37人に、西平内中学校が162人から38人にと、3校合わせて848人から214人と、634人も減少しております。

中学校1校で全校生徒が37人とか38人で、一学年が10人前後、多くても15～16人では、教育活動が満足に出来ないのではないのでしょうか。この事は、自身もPTA活動をしていた頃から感じており、少人数のメリットもデメリッ

トも理解はしていますが、私はデメリットの方が多いと思い、これらの事から、平成29年第3回定例会にて、管内中学校を統合すべき、そして統合の時期を早い段階で公表すべきとの質問をしました。

また、統合後の校舎として令和2年度末閉校となる青森東高校平内校舎を活用すべきではないかとの質問もしました。

これに対し町長は「中学校の統合に関しては、第一に子どもたちの将来のためを最優先に考え、保護者や地域等から広く意見を聞く機会を設け、早い段階で統合か否かを判断し、公表する」との答弁でありました。また、平内校舎の活用については、「県有施設であることから様々なことに配慮しながら県教育委員会へ働きかけをして参りたい」との答弁でした。

あれから2年が経ち、今や時代は急激に進化し、人工知能（ＡＩ）など技術革新の進展・普及は目覚ましく、人の働き方や生き方を含めた社会全体の構造までが加速度的に変化しております。このような時代だからこそ、学校教育では、単に知力の習得だけに止まらず将来に向け、総合的な力を備えた人材の育成が望まれると考えています。子ども達には多くの人数の中で切磋琢磨することが教育環境に必要不可欠であり、大事なことでと考えております。

そこで三点お伺いします。一点目は、地域や幼児・小学生・中学生の保護者等から広く意見を聞いて統合か否かを判断したいとのことでしたが、これまでどのような取組をしているのか、そしてその進捗状況はどうなっているのかについてお伺いします。

二点目は、平内校舎の後利用について県教育委員会にも働きかけをするとのことでしたが、

その後、県又は県教育委員会に対し、どのような働きかけをし、その結果がどうであったのかをお伺いします。

三点目は、統合するとした場合のタイムスケジュールと平内校舎を活用するとした場合のスケジュールはどのように考えているのかお伺いします。

以上で、檀上からの質問をおわります。

町 長

田中大議員のご質問にお答えいたします。

管内中学校の統合問題に関しての質問の一つ目「地域の保護者等から意見を聞いて統合か否かを判断したいとのことであったが、これまでどのような取組をしてきたか。その進捗状況はどうなっているのか。」についてであります。

この問題については、平成29年第3回定例会で、田中大議員の質問にお答えしたとおり、今後それぞれの地域の皆さんはじめ、中学生の保護者、小学生、幼児の保護者等、これから中学生となる子ども達の保護者などからも広く意見を聞くこととしており、今年度のなるべく早い段階で「統合問題に関するアンケート調査」を実施するとともに、「中学生の将来を考える意見交換会」を中学校の学区内3カ所で開催すべく、現在準備を進めているところであります。

その後、これらのアンケート結果や意見交換会で出た意見・提案等を取りまとめ、中学校の将来の在り方を検討するための「検討委員会」を立ち上げ、然るべき時期に統合か否かの結論を出したいと考えておりますので、ご理解願います。

質問の二つ目、「平内校舎の後利用について」であります。去る4月15日に私からの指示により、相坂教育長と学校教育課長が青森県教育委員会に出向き、県教育長、教育次長、学校施設課総括主幹と面談し、青森東高校平内

校舎の施設・用地を平内の中学校施設・用地として活用したい旨要望したところであります。同用地は、かつての平内高校建設の際、町から県に無償で譲渡した経緯を説明し、この度の同校舎閉校に伴って、町の中学校用地として無償で譲渡していただきたい旨を話しました。県教育長からは「知事部局での同校舎の利用意向にもよるが、今回の平内町からの要望については、しっかりと受け止めました。」との回答をいただいたところであります。なお、平内校舎の無償譲渡については、今後とも県教育委員会と協議を進めて参ります。

質問の三つ目、「仮に統合する場合のスケジュールと平内校舎活用の場合のスケジュールについて」であります。

このことについては、仮に統合するにしても平内校舎の活用ができない場合、あるいは平内校舎が活用できても統合できない場合等、様々なケースが考えられることから、現段階では、様々な意見をいただいた後にスケジュールを検討したいと考えております。

田中大

私は「学校」は、地域の拠点でありシンボルであると考えております。また、そのように思っている人は地域には必ずいると考えております。「学校」が地域から無くなることにに対し、感情的に反対する人が少なからず出てくることは予想されることです。

これらについては、地域や保護者等に、時間はかかっても丁寧な説明をし、理解を得て円満に進め、平内の将来を担う子ども達に対し、多くの選択肢を与えることができる環境を是非つくってほしいということを要望し、質問を打ち切ります。